

## センター長就任にあたって

安在 弘幸\*

昨年の初夏の頃に広報3号への執筆を依頼され、本学の情報化の歩みについて小文を書きました。その中で、利用者に優しい全学ネットワークの構築をお願いしたい旨述べましたが、その当人がその任に当たるようになろうとは・・・去る6月16日付をもってセンター長の重任を仰せつかって既に3ヶ月を過ぎ、責任の重さを痛感しています。

昭和62年5月、従来にない構想の学内計算機センターとして、すなわち、いわゆるキャンパス・オートメーション構想を実現していく核として、本情報科学センターが設立されました。以降、有田前センター長はじめ本センター教職員のご努力と関係各位のご協力のもとで着々と整備が進められて参りましたことは、すでにご存じの通りです。

ところで、電子技術の発達は留まるところを知らず、その勢いが現在の計算機業界にいわゆるダウンサイジングの大波を引きおこしています。こうして、メインフレーム中心の集中型システムに対して、ワークステーションを相互に結んでいく分散型ネットワークシステムが出現して参りました。メインフレームのもつ高速計算や情報蓄積の機能は、ここではネットワークに接続された計算サーバやファイルサーバに代行されたりします。本センター設置の計算機システムは、既にお知らせのごとく、明年4月をもって、前者の集中型から後者の分散型へ変更されることになりました。

更新機種の選定作業は、まさにこのようなシステムアーキテクチャの転回期に行われました。この波がマスコミを賑わせ、メインフレームが態勢を整えはじめようとした頃にはすでに作業は終了段階を迎えていました。機種選定の大綱を定めて頂いた選考委員の先生方、並びに仕様の作成に長時間にわたり真摯にご尽力いただいた作業委員の先生方、どうも有難うございました。

現在、センターでは新しいシステムに向けて鋭意作業を進めております。新システム導入のためにセンター建物の大規模な改造など関係各位には多大のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。同様なシステムはすでに本学のいくつかの学科に導入されており、実績に対する不安はありませんが、しかし共同利用センターとしての運営には、また別の多くの問題に対処しなければならないだろうと思われまふ。皆様のご協力をよろしくお願いする次第です。

---

\* 工学部電気工学科情報工学教室    anzai@comp.kyutech.ac.jp